

広報

おいらせ



特集

消費地産

—おいらせの恵みをいただく—

- 02 みんなに教えたくなるこの人 —中山紀子さん—
- 12 Oirase Topics まちの話題
- 14 日本一のおいらせ鮭まつり スタッフ・出店を募集
- 15 自治基本条例
- 19 国民年金—はがきを送って所得税控除—
- 26 —楽しみながら知識を深める— ふるさと学習塾
- 32 家族のきずな —江渡慎之介君・真奈さん—

Public
Relations
October
2009
No.56

10

Special Edition

地産地消

—おいらせの恵みをいただく—

わたしたちが住むおいらせは、
良質でおいしい野菜を生産する町です。
地元の風土でたくましく育った野菜は、
わたしたちに栄養と元気を与えてくれます。
地元の食べ物を食べる喜びを感じながら、
生産する農家の愛情を感じながら、
「地産地消」の良さを見つめてみましょう。



広報 おいらせ

10 Oirase Town Public Relations
October 2009 No.56

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えたくなるこの人
—中山紀子さん—
- 03 特集
地産地消
- 12 Oirase Topics まちの話題
- 14 日本一のおいらせ鮭まつり
スタッフ・出店を募集
- 15 自治基本条例
- 16 あいさつの第一声は家族から
- 20 Monthly Oirase Information
- 23 戸籍の窓
- 24 ZoomUp —日野口和子さん—
- 26 ふるさと学習塾
- 28 家族のきずな
—江渡慎之介君・真奈さん—



表紙の写真●古間木山連合町内会（福原仁一会長）は9月6日、防災訓練を行った。水消火器で消化訓練を体験する高原真優さん（木ノ下小6年）。



中山紀子さん

在宅介護支援センターたんぽぽ 相談員

なかやま・のりこ●1979年八戸市生まれ。中学生時代に福祉の道を志す。現在、在宅介護支援センターの相談員として、町の介護予防教室などで活躍する。友人と共に音楽活動をするのが趣味。両親、弟との4人暮らし。おいらせ町新町在住、30歳。

町は介護予防教室などを行い、高齢者の介護予防に力を入れている。町包括支援センターが主催するこの教室には、地域の情報を知る在宅介護支援センターの協力が欠かせない。中山紀子さん（三〇）新町にも、介護予防教室を支える一人だ。介護の道を志したのは中学生のころという中山さん。愛する祖母の認知症を目の当たりにしたことがきっかけだった。その姿を見て「何とか自分が支えなくなってあげたい」と強く考えた。普通高校を卒業後、介護福祉の専門学校へ進み、夢をかなえるために勉学に励んだ。専門学校では実習がとて多く、時には大変だと感じることもあったという。

平成十一年、百石荘（社会福祉法人奥入瀬会）に就職。福祉の道への夢をかなえた瞬間だった。高齢者の食事介助やおむつ交換など、仕事は多岐にわたる。専門学校で学んだことと現場の仕事には違いがあった。目まぐるしく過ぎる毎日を過ごしながら「先輩についていくのがやっとならした」と、中山さんは当時を懐かしそうに振り返る。現在は町の介護予防教室に、在宅介護支援センター相談員としてかかわっている。介護予防教室に来る高齢者たちは、教室の日を楽しみにしている人も多い。中山さんは「自分も一緒に楽しんでいきます。皆さんの反応がとってもうれいんです」と、にっこりほほ笑んだ。

世界の「地産地消」

「地元の農産物を地元で食べる」という活動は、日本だけではなく、世界中のたくさんの国々で取り組んでいます。



KOREA
しんどふじ
身土不二

韓国を中心に進められているスローフード。「国産農産物を愛用し、国産品を優先して購入しよう」というものです。もとは14世紀の中国の書物に記された言葉だといわれています。「風土や食べ物は、人間とは分けることができない。その土地に生まれた人間は、その土地の作物を食べるのが最も体に良い」という考えからです。



ITALY
スローフード

イタリアの北部を中心に、1980年代から始まった運動です。地域の食文化を見つめ直し、「食の喜び」を取り戻そうとするもの。▶郷土料理や良質な食材を守る▶生産者を守る▶消費者に食の教育を進める—など、食文化の伝承にも主眼を置きます。



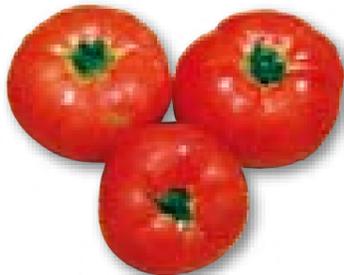
UNITED STATES
CSA

米国で展開された活動で、Community-Supported Agriculture（地域が支える農業）を略したもの。農産物購入の事前契約など、地域の農業を消費者も支援しています。農業振興だけでなく、環境保全やコミュニティの維持を目指しています。

産直には、生産者の笑顔と愛情を注いだ、新鮮で安心な野菜たちが待っています。あなたもぜひ産直に足を向けてみませんか。

活躍の場が拡大します

生産する農産物の量が少なくても、地元の直売所を活用して販売できます。高齢者や女性農業者の活躍の場が広がります。



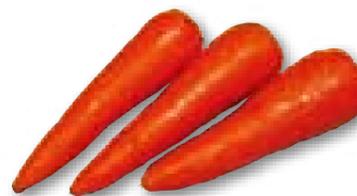
流通コストを削減できます

地元で消費されることで、運搬費用を抑えることができます。CO₂も削減でき、環境に優しくなります。



消費者ニーズが分かります

消費者がどのような農産物を求めているか、ニーズを把握できます。ニーズの把握は、生産活動へ生かすことができます。



生産者



生産者と消費者の交流 産直施設のメリット

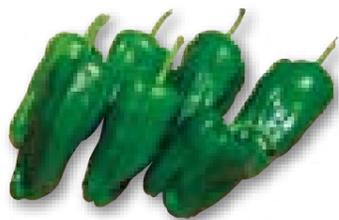
生産者の顔が見えます

生産者の顔が見え、話ができる関係を構築できます。関係が深まれば愛着がわき、また地元の農産物を買いたい求めたくなります。



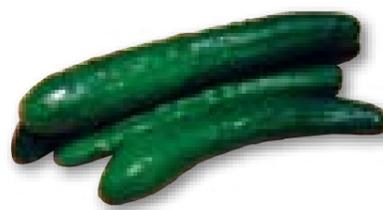
生産状況が分かります

生産する農家と直接話することもできます。生産状況を確認することで、食や農業への理解は格段に深まります。



新鮮で安心です

身近な地元でつくられた新鮮で安全な農産物を食べることができます。地域の農産物は、減農薬、無農薬のものも増えてきています。



消費者



安全でおいしい地元産
生産者の愛情がたっぷり

地産地消とは、地域で育てられた農産物を、その地域で消費することです。地元の農産物を食べることは、生産者にも消費者にも、たくさんメリットをもたらします。

消費者にとっては、身近な地域で育てられた、新鮮な農産物を食べることが出来ます。自分の住んでいる地域で、どのような季節にどのような野菜が育てられているか、何が「旬」なのかを感じる事が出来ます。消費者は自然と栄養価やおいしさを追求し、食への関心を高めます。食への関心は、それを生産する「農業」という仕事への関心も高めます。地産地消の大きな支えになっているのが産直施設です。農家の高齢者や女性、農協やNPOなどが中心となり、産直を運営しています。

このおいらせには、いくつもの産直施設があります。産直の野菜売り場には、「田中さんの栽培した野菜」など、生産者の顔が見える工夫がされています。もしかしたら、生産者と顔を合わせて、話をしながら野菜を買うことができるかもしれません。自分が買おうとしている野菜がどのように育てられたのか、プロの声を聞くことができます。つまり、安心して野菜を家庭の食卓へ用意することができるのです。

一方、生産者にも大きなメリットがあります。消費者の反応、声を聞きながら、ニーズに対応した野菜を生産することができます。流通コストを減らしながら販売できるため、収益を向上することもできます。産直に足を向ける消費者の「おいしい」、「いつも買っているんです」という一言が、日々の仕事の励みになっている農家もあります。また、大規模に生産することができなくても野菜を出荷できるのは、生産者にとって大きな強みです。最近の産直には、普段スーパーなど大型店でも見かけないような、珍しい野菜や果物が並んでいることもあります。そんな農産物を手に取って眺められるのも、産直の大きな魅力かもしれません。



「地産地消」を知っていますか？

おいらせで生産された農産物をいただく...



01



02



03

● 01_ おはよう広場に野菜を出荷する八重垣真利子さん＝三本木＝。毎朝8時過ぎに、新鮮な野菜が届けられる。 ● 02_ 店内の陳列棚には、生産者の名前と顔写真が入ったプレートが取り付けられる。誰が育てた野菜なのか、一目で分かる工夫がされている。 ● 03_ 収穫したばかりの新鮮なトウモロコシを並べ終えた木村勝幸さん。木村さんのトウモロコシは生で食べても、まるで果物のような甘みを感じる。

産直は新鮮野菜の宝庫

買

毎朝取れたての新鮮野菜が並ぶ産直は、地域の安心、安全な野菜を手軽に買い求められる施設です。少し足を向けてみると、農家の人たちの楽しい交流ができるかもしれません。

毎朝届く新鮮な野菜 生産者が見える工夫で集客

木ノ下地区に平成二十二年にオープンした産直施設「おはよう広場」には、町内はもちろん、北に隣接する三沢市などからもたくさんの方の買い物客が訪れます。

毎朝八時過ぎ、農家が野菜をトラックに積んで集まります。自分たちが育てた野菜を、丁寧に店の棚に並べていく生産者。それぞれの陳列場所は決められています。そこには誰が育てた野菜なのか一目で分かるよう、顔写真や名前が入ったプレートが置かれています。買い物客に、その野菜をどんな人が育てたのか、一目で分かるような工夫がされています。

会話から生まれる信頼関係 交流が明日の力の源になる

岡田ツヤさん(七) 豊栄(七)

おはよう広場にいつもトウモロコシやカボチャなどを出している木村勝幸さん(木ノ下)は、これまで野菜を育てた経験はほとんどなかったといいます。二年前から本格的に野菜をつくり始めましたが、最初は試行錯誤の連続だったそうです。木村さんは「自分で育てたトウモロコシの甘さを、たくさんの人に味わってもらいたいです」とにっこり。野菜の栽培は大変ですが、その成長を毎日楽しみにしているようです。

買い物客へ「また来てくれたね」「お父さんの調子は？」など、気軽に声をかけます。そして野菜の料理方法やコツなどを、立ち話をしながらコミュニケーションをとっています。

販売員の柿本良一さんによると、生産者と消費者の情報交換は、特に朝の時間帯は毎日のように見られる光景だそうです。柿本さんは「みんな楽しそうに話をしているんですよ」と話します。

生産者は、消費者が何を求めているのか、直接話を聞くことができます。消費者もその野菜の話を、生産者から直接聞くことができます。両者の間に信頼関係が生まれます。笑顔の会話が交流を生み出し、生産者の力の源につながっています。



新鮮なトウモロコシを出荷する岡田ツヤさん(中央)。客との会話に花が咲く。

観光PRセンター
味彩館(あじさいかん)

味彩館は地域の野菜はもちろん、お酒やお菓子など、さまざまな品物をそろえています。夏場には特産のイチゴも並びます。イチゴは大人気で、すぐに売り切れてしまうんですよ。

☎ 0178-52-8696

新井山セツさん
Niiyama Setsu



産直施設
おっほくん広場

おっほくん広場は新鮮な野菜や加工品を取りそろえています。地域の老若男女がたくさん買い物に来てくれます。地域の皆さんが気軽に足を運べる産直です。来店をお待ちしています。

☎ 0178-56-4159

成田喜美子さん・久保田サダ子さん・小向幾代さん
Narita Kimiko/Kubota Sadako/Komukai Ikuyo



観光農園
アグリノ里おいらせ

おいらせの農産物だけでなく、ハウスで栽培するバナナやパイナップルなど南国の果物も人気があります。動物コーナーや足湯もありますから、家族で楽しめますよ。

☎ 0178-56-2884
http://agurinosato.jp

柏村真央さん・橋本美希さん
Kashiwamura,Mao / Hashimoto,Miki



産直施設
おはよう広場

広大な畑が広がる木ノ下地区にある産直です。農家の人と客がいつも笑顔で会話を交わっている、にぎやかなところですよ。新鮮な野菜と一緒に、みなさんのお越しをお待ちしています。

☎ 0178-56-5487

浦崎邦子さん・柿本良一さん
Urasaki Kuniko / Kakimoto Ryoichi





02



03



04



01

● 01_ ホール風景と、ウェイトレスの山内麻衣さん。おしゃれな空間で心ゆくまで、地域の食材を楽しめる。 ● 02_ 玄関にある彫刻が客を迎える ● 03_ おしゃれなランプは優しい明かりをともし、落ち着いた雰囲気演出する。 ● 04_ メニューの一例。夏野菜のカレーやサラダ、デザート。使われている食材は、もちろん地元で取れたもの。 ● 05_ アグリの里おいらせを経営する苦米地さん。「地域のために、地域の食材に徹底的にこだわりたい」と熱く語る ● 06_ 料理はピュッフェスタイルで、客が自由に好みの料理を取り分けて食べる。料金は1人1,500円。90分間で好きな料理を食べられる。 ● 07_ 清潔な調理場で、デザートや料理はつくられる。障害者を20人ほど雇用し、雇用創出を狙うのも大きな特徴。

アグリの里おいらせ 農園レストラン
百果良彩 11:00-20:00
 Hyakka Ryosai 定休日/木曜日
 ☎ 0178-20-0652



07



05

洋風の建物に入ると、そこは落ち着いた色合いの柱と上品な照明で彩られた空間。八月二十四日にオープンした「百果良彩」は、地元産の料理を心ゆくまで楽しめるレストランです。フロアには車いすでも簡単に入ることができるよう、バリアフリーの構造になっています。

開店後、町内外からたくさんの人々が訪れ、料理に舌鼓を打っています。レストランを運営する苦米地義之代表取締役は「おいらせの農産物にこだわった料理で、地域を盛り上げたい」と力強く語ります。

苦米地さんは産直施設「アグリの里おいらせ」を運営する傍ら、県内外の産直施設や道の駅を視察。そこで決定的に足りなかったのは「地元農産物にこだわった料理」だったといひます。百果良彩の料理は、地元の農家が収穫した野菜はもちろん、そのほかの野菜や南国のフルーツなど、ビニールハウスで自家栽培したものもふんだんに使っています。

市場の動向に左右されず、地元の農産物を最大限に生かしたいという苦米地さん。今後も事業を拡大し、おいらせの味を知ってもらいたいと、抱負を語ります。

地元産にこだわった料理を心ゆくまで楽しめる空間

食す
 地域の素材に
 こだわわる

八月にオープンした「百果良彩」は、地域で取れた野菜や果物を料理の素材として使うなど、地産地消にこだわったレストランです。メニュー豊富な料理の一つひとつに、おいらせの味を感じられます。



01



02

●01_根岸健康自給菜園に美しい彩りを添えるユリの花。春から秋まで、どの季節でも花が咲くように、さまざまな種類の花を植えている。 ●02_家庭の生ごみをコンポストに入れて分解し、堆肥として使っている。生ごみを使った堆肥で育てた野菜の味は、くせやえぐみがなく、会員に好評。

取材を終えて

「スローフード」、「地産地消」…このような言葉は雑誌やテレビでよく見聞きするようになってきた。野菜でも何でも、さまざまな食品が店にあふれる時代だからこそ、新鮮な響きを感じる言葉だ。

一昔前は、ほとんどの家の庭に畑があった。そこで収穫したトマトやキュウリは食卓を飾った。大量消費の便利なシステムが出来上がるにつれ、いつでも気軽に食材を買えるようになった。でも、やはり地元で取れた旬の野菜の味は別格だ。

地域で収穫した食材には、育てた人たちの愛情、土から得た栄養がぎゅっと詰まっている。おいらせの旬の味を、ぜひ自分の舌で味わってみよう。

特集◎地産地消
—おいらせの恵みをいただく— 終わり

特集の意見や感想を寄せてください

●企画課 ☎0178-56-4701
●ホームページ・町民の声
<http://www.town.oirase.aomori.jp>

とはひと味もふた味も違います。本当においしいんです」とにっこり。菜園は平成十八年から始まりました。その前は雑草が生い茂る空き地でした。雑草の種や害虫は、隣り合う畑に飛ばされ、農作物に被害を与えていました。農家の人々から「何とかならないのか」と苦情を寄せられたことを、小平さんはつい昨日のことのように振り返ります。

す。本年初めて参加した有澤潤さん、恵さんの夫婦は「自然の恵みをいただいていることを実感できます」と笑顔で話します。菜園の活動を続けるにつれ、今まで知らなかった人と会話はずむようになりました。「束縛されずに自由に野菜を育てること」が菜園をうまく運営できる秘訣と、小平さんは言い切ります。

土や肥料は徹底してこだわる 自然の力を最大限に活用

菜園の立ち上げ当時から関わっている松林清栄さん(六九) 根岸は「土には徹底的にこだわります。オンコ(イチイ)の木の根元の土を畑に入れていきます。これが最高の土

なんです」と自信を持って語ります。長生きするオンコやイチイの根元の土を使うことで、その生命力を分けてもらえるというのが松林さんの考えです。肥料も徹底してこだわります。それぞれの家庭から出る生ごみを、コンポストの中で分解させ、肥料として使います。ごみと農業を上手につなげ、循環型システムを構築させる取り組みとして注目されています。本菜園に取り組む会員のほとんどは、農業を本格的に営んだことのない人ばかりです。分からないことは近くの農家にアドバイスを受けることもよくあります。自然の恵みに感謝しながら、農業を楽しむ会員の笑顔が、根岸町内にあふれています。

町民農園で新鮮な野菜づくり

畑を持っていない人でも気軽に野菜づくりを楽しめるように、町は町民農園を用意しています。この農園で、たくさんの人たちが思い思いに野菜づくりをしています。



利用期間は春から10月末まで、1区画3,000円で貸し出しています。興味のある人は気軽に問い合わせください。

●農林水産課
☎0178-56-4279



菜園の休憩場所「スナック青空」で休む会員ら(前列右から4人目=小平孝二郎さん、後列右から3人目=松林清栄さん)

野菜づくりは 地域づくりへ

根岸地区にある「根岸健康自給菜園」は地産地消、健康づくりを目指し立ち上がりました。農業を職業にしていなかった人たちが、野菜を育て、食べる喜びを感じています。野菜づくりは人同士の交流を生み出します。

雑草生い茂る空き地は 恵みの畑に生まれ変わった

町のシンボル「自由の女神像」がそびえるいちよう公園の西側にある根岸地区に、地域の人々が集う畑があります。「根岸健康自給菜園(以下「菜園」)と名づけられた畑には、五十種類もの野菜や花が植えられています。およそ五百坪の畑は、二十坪ほどに細かく仕切られています。会員は思い思いに野菜を育てます。根岸町内会長を務める小平孝二郎さん(六六) 根岸は「ここで栽培する野菜は、スーパーで買うもの

VOICE

根岸健康自給菜園に関わる人々の声を聞いた



小平孝二郎さん
Kodaïra Kojiro (根岸)

自給菜園の活動が盛り上がるに連れて、会員同士の交流が深まってきました。みんな笑顔で、思い思いに野菜づくりを楽しんでいます。



関勝登志さん
Seki Katsutoshi (洋光台)

愛情込めて世話した野菜を収穫できたときは、本当にうれしい気持ちになります。隣の畑といい意味で競いながら野菜を育てています。



有澤潤さん・恵さん
Arisawa Jun/Megumi (下前田)

今年初めて根岸健康自給菜園に野菜を植えました。自然から恵みをいただいている気持ちです。こんな菜園が町にもっと増えるといいですね。

大勢の将棋ファンが集う
全国将棋祭り



全国将棋祭りは8月22日、23日の両日、みなくろ館で開かれ、大勢の将棋ファンでにぎわいました。

初日に行われた子ども人間将棋は、駒に扮した小学生らが、芝生に敷かれた巨大な盤の上を動き回りました。子ども人間将棋は、行方尚史八段と田中舞美さん（百石小6年）、近藤正和六段と吉田葵さん（青森西中1年）のペアが、一手ずつ交代で将棋を指すプロアマリレー方式で行われました。

23日は倉敷藤花戦おいらせ対局が行われ、古河彩子二段と上田初美二段の対戦が行われました。

◀子ども人間将棋で駒役を務めた小学生ら

福祉活動に役立ててほしい
東北地方郵便局長協会のタオル寄付



東北地方郵便局長協会上北東部会（部会長／中野渡勝義三沢大津郵便局長）は9月1日、360本ものタオルを町へ寄付しました。

本部会はおいらせ町、三沢市、六戸町にある郵便局長らで組織された部会です。福祉活動などに役立ててもらうため、それぞれの市町へタオル寄付を継続して行っています。

タオルを受け取った三村町長は「これから敬老会やまつりなど、いろいろなイベントで活用していきたい」と笑顔でお礼を述べていました。

◀タオルを寄付した中野渡三沢大津郵便局長（中央）、青沼百石郵便局長（左）

長寿と健康を祝って
敬老会



敬老会は9月2日、町民交流センターで開かれました。75歳以上の対象者2400人あまりのうち、およそ650人が参加し、会食や子どもたちのアトラクションを楽しみながら交流を深めました。

88歳の米寿を迎えた夫婦2組は長寿夫婦県知事顕彰、88歳の個人74組は町特別顕彰を受けました。

顕彰状を受け取った馬場トミさん＝三本木＝は「病気をしないよう、これからも健康に気を付けていきたい」と話していました。

◀顕彰状を受け取る馬場さん（写真右）

青少年の健全な育成を願う
更生保護女性連盟「秋の集い」



青森県更生保護女性連盟は9月10日、いちょう公園体育館で「秋の集い」を開きました。この催しは県内市町村を毎年巡回して行われるもので、今回で42回目を迎えます。

本連盟は昭和37年に設立。以来、青少年の非行や犯罪の防止、厚生活動に力を注いできました。県内で活動を展開する会員およそ100人が、活動に対し感謝状を贈られました。

松林裕子さん＝根岸＝は受賞者を代表して感謝の言葉を述べました。松林さんは「地域や家庭が手を携え、子どもたちを守っていきます」と話していました。

◀確固たる決意を述べる松林さん

大きくなって帰っておいで
百石漁港でヒラメの稚魚を放流



県栽培漁業振興組合と町漁業協同組合は8月12日、甲洋なかよし教室の児童ら30人と共に、ヒラメの稚魚およそ1万匹を百石漁港へ放流しました。

放流した稚魚は、本年4月に生まれたもので、およそ8センチほどの大きさに育ったもの。3年ほどで35センチくらいまで成長し、水揚げできる大きさになります。

参加した平野漱一君（甲洋小3年）は「ヒラメのお刺身は大好き。早く稚魚たちが大きくなって、3年後にまた会いたいです」と、ヒラメとの再会を願っていました。

◀ヒラメの稚魚を放流する平野漱一君

交通事故ゼロはみんなの願い
全国交通安全キャラバン隊来町



全国交通安全キャラバン隊は8月21日、おいらせ町入りし、内閣府特命大臣メッセージを町へ伝達しました。本隊は交通安全の啓発を目的に結成され、これまでのべ390の地域を巡回しています。

会場の中央公園には、関係者や子どもたち、およそ150人が集まり、「交通事故のないまちづくり」を誓いました。

シートベルトの効果を感じてみる衝突実験では、子どもたちが衝撃の大きさにびっくり。川口保育園の沢村楓さん（5つ）は「ちゃんとシートベルトを締めなきゃ」と話していました。

◀衝突の瞬間、沢村さん（前列左）はシートベルトを握り締めた

若者のエネルギーが爆発
縄文の森チャリティフレンズライブ



縄文の森チャリティフレンズライブは8月22日、23日の両日、縄文の森イベント広場で開かれました。これは音楽を愛する有志による手づくりのイベントで、今年で7回目を迎えます。

今回は吹奏楽やハードロック、ポップスなどバラエティ豊かなグループ24組が参加。今回初めて参加したバンド「Chasmo」のボーカルを務めたハル（大場春奈）さん＝八戸市＝は「野外ライブは最高に気持ちいいです。観客と一体になって歌えました」と笑顔で感想を話してくれました。

◀ハルさん（写真右）の歌声に、観客のボルテージは最高潮

健康の仕組みを楽しく学ぶ
いきいき健康まつり



いきいき健康まつりは8月23日、いきいき館で開かれました。このイベントは健康への関心を高めてもらうよう、毎年開かれているものです。

会場には血圧測定や血液検査、体脂肪チェックなど、さまざまなコーナーが設けられました。血液検査で自分の血液を拡大した画像を見て、驚く人もいました。

館越陽子さん＝本村＝は「自分の血液をこんなに拡大して見るのは初めてでした。普段は気にしない体脂肪もチェックできてよかったです」と笑顔でした。

◀保健師の説明を受ける館越陽子さん、真奈さん（左から）

スタッフ・出店を募集



タイムレースで行われる「鮭早つかみゲーム」は、子どもも大人も水びたし

晩秋の奥入瀬川で繰り広げられる豪快な鮭のつかみ取り。「日本一のおいらせ鮭まつり」は本町最大のイベントです。11月14日⑤、15日⑥の両日、しもだサーモンパークで開かれます。



鮭まつりボランティア スタッフを募集します

☎56-4703

本町最大のイベント「日本一のおいらせ鮭まつり」に、ボランティアスタッフとして参加しませんか。外国人も多く訪れるイベントです。英会話ができる人は大歓迎です。スタッフジャンパーと昼食を用意します。

- 日時 十一月十四日(土)、十五日(日)
- 場所 しもだサーモンパーク(奥入瀬川河川敷)
- 申込期限 十月三十日(金)

鮭まつり出店者を募集します

☎56-2511

- 出店料 一区画六千円(一区画11間口三間×奥行き二間)
- 出店条件 営業許可を持ち、鮭まつり実行委員会が発行するスタッフ用食事券に対応できる人。観
- 申込日時 十月十九日(月)から二十三日(金)までの五日間、九時から十六時まで
- 出店説明会 申込者を対象に、後日出店者説明会を開きます。日程は申し込みの時に案内します。申し込みが多いときは、抽選で決定します。

OIRASE SALMON FESTIVAL

四月一日スタート

シリーズ 9

自治基本条例

条例の運用状況を検証するための第三者による「検証組織」を紹介します。



町は条例第三十九条の規定に基づき「おいらせ町自治推進委員会」を設置し、行政運営が自治基本条例に沿って、適正かつ公正に行われているかを監視します。主な役割は次のようなものです。

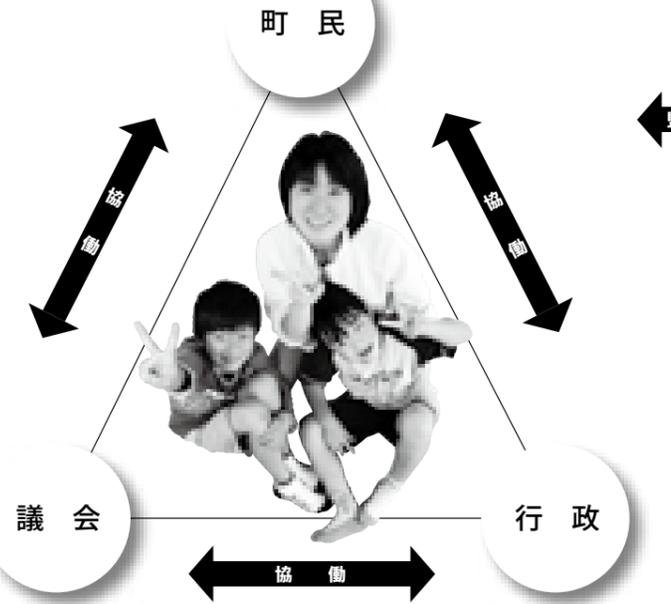
- ①自治基本条例の運用状況を検証する。
- ②町の諮問に応じて、自治の推進に関し審議し答申する。
- ③自治の推進に関する重要な事項について、町へ提言する。
- ④そのほか、参加および協働の実施に関し必要と思われる事項について協議する。

検証組織のイメージ

第三者機関による町自治推進委員会

- 検証
- 審議・答申
- 提言
- 協議

監視



自治の実現

意見や感想を寄せてください

自治基本条例、住民自治組織について、気軽に問い合わせてください。

●問い合わせ 企画課 ☎0178-56-4701

第九章 施行後の検証と見直し
(運用状況の検証)
第三十九条 おいらせ町は、この条例の運用状況を毎年検証し、これを公表します。
2 条例の運用状況を検証するための組織は別に設置します。
(条例の見直し)
第四十条 この条例は五年を越えない期間ごとに見直しします。
2 条例の見直しにあたっては、広く町民の声を聴かなければなりません。
(原文のまま掲載)



あいさつの
第一声は
家族から

「あいさつ」を今一度考えてみよう

あいさつは人間の基本的なコミュニケーションです。家族や友だち、仕事や地域の仲間の心をつなぎ、さわやかな会話を生み出します。

町は「あいさつがこだまする元気のある町・おいらせ町」をスローガンに、あいさつ運動を展開しています。学校や家庭、地域や職場で、進んであいさつをすることで、お互いが気持ちよく過ごすことができます。

10月は「あいさつ運動推進月間」

町あいさつ運動推進協議会は、10月をあいさつ運動推進月間とし、あらゆる場面でのあいさつ強化を進めます。

家庭で取り組んでほしいこと

- 積極的にあいさつをしましょう
-おはよう、おやすみ、いただきます-
- 家族そろって食卓を囲みましょう

学校で取り組んでほしいこと

- 積極的にあいさつをしましょう
- 保護者へも積極的に啓発しましょう

地域や事業所で取り組んでほしいこと

- 積極的なあいさつを心がけましょう

あいさつ運動アンケートを行いました

本協議会は学校や企業などのあいさつ運動の取り組みを、アンケート方式で調査しました。その一部を紹介します。

- ◎進んであいさつをしてくれる人が増えている(小学校)
- ◎活動の前後で特に変化は感じない(保育園)
- ◎道ですれ違う時にあいさつする人が増えた
- ◎あいさつ運動自体を知らなかった(企業)
- ◎役場窓口のあいさつが良かった(企業)

あいさつ運動推進協議会 (生涯学習課内)
☎ 0178-56-4701

公民館講座は、町民なら誰でも気軽に楽しめる講座を用意しています。気軽に申し込みしてみてください。

韓国料理教室

- 日時 十一月十二日(木)、十九日(木)、二十六日(木) 九時から十三時まで
- 場所 いきいき館
- 講師 柴允恵さん
- 受講料 無料
- 材料費 一回あたり千円
- 持ち物 エプロン、三角巾、

古典文学講座

- 日時 十一月七日(土)、二十一日(土)、二十八日(土)、十四時から十五時半まで
- 場所 東公民館
- 講師 三村三千代さん
- 受講料 無料

子育て講座「親業」

- 日時 十一月十三日(金)、十八時から十九時まで
- 場所 北部児童センター
- 講師 能生幸子さん(親業インストラクター)
- 定員 親子三十組
- 受講料 無料
- 託児 小学生以上の子ども

北公民館文化祭

- 日時 十一月七日(土)、九時から十七時まで / 十一月八日(日) / 九時から



琴を奏でる文化協会員ら。舞台部門発表はさまざまな団体が出演します。

十五時半まで
●場所 北公民館
●主なイベントの内容 各種サークルの展示、舞台部門発表、お茶会、食堂や各種販売など

新着図書案内

- ▼一般書
 - 終の住処 / 磯崎憲一郎 (第四百一回芥川賞受賞作)
 - 鷺と雪 / 北村薫 (第四百一回直木賞受賞作)
 - 世紀の発見 / 磯崎憲一郎
 - 差別と日本人 / 野中広務
 - 体温を上げると健康になる / 齋藤真嗣
 - もつとひろがる国産米粉クッキング / 坂本佳奈
 - ラブリィ・ボーン / A・シーボルト

- 家庭でできるキノコづくり / 大貫敬二
- 史記①② / 北方謙三
- 半島へ、ふたたび / 蓮池薫
- 太陽を曳く馬(上)(下) / 高村薫
- 龍撃ち / 久保俊治
- 龍神の雨 / 道尾秀介
- 乱反射 / 貫井徳郎 ほか
- ▼児童書
 - 赤ずきん / いしいしんじ
 - めちやくちやはずかしかつたこと / L・フランマン
 - 中学生はこれを読め!①② / 北海道新聞社
 - おばけなんてないさ / せなけいこ

- プロゴルファー石川遼・夢をかなえる道・急がば回るな / 井上兼行
- かいけつゾロリきょうふのちようときゅう / 原ゆたか
- ちいさなあなたへ / A・マギー
- ヤッターマンさいしんじてん / 小学館
- 金本知憲 心が折れてもあきらめるな! / 金本知憲
- いのちのもりで、いねむりおじさんとボクくん / やなせたかし ほか

- ▼中央公民館
 - 終の住処 / 磯崎憲一郎
 - 鷺と雪 / 北村薫
 - 運命の人④ / 山崎豊子
 - 寂聴幸運の鍵 / 瀬戸内寂聴
 - ふたりの秘密 / 永六輔
 - 親友はいますか / 渡辺淳一
 - 働くおうちの親子ごはん / 田内しようこ
 - NHKためしてガッテン食育!ビックリ大図典 / 北折一
 - ぼくが探偵だった夏 / 内田康夫 ほか

- 【読書の秋におすすめの本】
十月七日から十一月九日は秋の読書週間です。読みごたえのある長編小説、気軽に読める短編集やエッセイを集めました。
- ◎ 十月のよみきかせ会
●日時 十月十日(土)、二十四日(土)
- 場所 十四時から あそぼっと (図書館内)
- ◎ 十月の図書館休館日
●日時 十月五日(月)、十三日(火)、十九日(月)、二十六日(月)



箕

【民具ふれあい館蔵】

箕は、打つたりたたいたりして落とした穀物類や菜種などを、実と殻により分けるための道具である。

あおること穀物の実は底部に残り、殻は外に飛ばされる。一人で早く簡単に操作ができ、この農家にも備えられていた。山間の集落、旧南郷村の世増地区では農閑稼ぎとして長い間、イタヤ材で籠や箕をついていた。箕は、イタヤの木、藤の皮、山桜の皮などを帯状にしたものを用いて平らに編み、一方を開いて、残りの三方を折り曲げ、縁にウワミズザクラの枝

を付けたものである。春、農家や旅館に泊まりながら、箕を八枚一組に重ね、製作用具の「箕張り棒」を箕の内側に一文字に渡して背負い、突然の雨には箕を傘代わりにして、上北郡下の農家を一軒一軒訪ね歩いて売った。頼まれると修理・補修にも快く応じたという。文化財保護審議会委員 櫻庭俊美

子育て—地域や親の役割を考えよう—

- 町連合PTA研究大会は次の日程で開かれます。記念講演は誰でも参加することが出来ます。気軽に参加してください。
- 日時 十月三十一日(水) 十九時十分から二十時三十五分まで
- 場所 みなぐる館
- 講師 前川健一郎さん
- 演題 「地域で育つ親子(仮)」

●事前申し込み
生涯学習課
☎ 0178(56) 4218

まえかわ・けんいちろう ●若手県立山村校長会長、滝沢村社会教育指導員などを務める。現在、日本教育界若手地区会長や滝沢ふるさと交流館長など、多くの要職に就く。

はがきを送って所得税控除



① 65歳以上で
年金額 158万円以上

② 65歳未満で
年金額 108万円以上

これ以外の人には送られません。

高齢・退職年金で「扶養親族等申告書」というはがきが送られるネン。



障害・遺族年金は、税金がかからないので、はがきは送られません。

教えておいらくん

「日本年金機構」は平成22年1月1日スタート

社会保険庁が廃止になるよ。従来の組織や人員を一新し、日本年金機構がスタートするよ。



日本年金機構になると何か変わるの？

八戸社会保険事務所は「八戸年金事務所」に名称が変わるよ。年金相談や手続きなどは、従来通りだよ。

■問い合わせ 八戸社会保険事務所 Tel 0178-44-1742
町民課 (本庁舎1階) Tel 0178-56-2246

町長と何でも喋り合おう「町民懇談会」を開催

この懇談会には、誰でも参加し、意見や要望を述べる事ができます。気軽に参加してください。

●町の出席予定者 町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画課長

●時間帯 十八時半から

●主な内容 まちづくりの説明 (総合計画と財政状況、自治基本条例と住民自治組織、合併効果の実績)、意見交換ほか

月日(曜日)	会場	対象町内
1日(木)	木内々コミュニティセンター	木内々、有楽町
2日(金)	豊栄地区コミュニティセンター	苫米地、豊栄
6日(火)	間木地区コミュニティセンター	間木、曙
8日(木)	秋堂コミュニティセンター	染屋、木崎、秋堂、中野平
10月13日(火)	阿光坊地区農事集会所	阿光坊
15日(木)	本村地区コミュニティセンター 伝承館	本村、鍋久保
20日(火)	三田会館	三田、三本木
27日(火)	洗平地区農業構造改善センター	洗平、新敷、錦ヶ丘
29日(木)	一川目地区生活会館	一川目、深沢
2日(月)	二川目地区生活会館	二川目
10日(火)	東公民館	本町地区、苗振谷地
12日(木)	藤ヶ森地区生活会館	藤ヶ森、日ヶ久保
11月19日(木)	洋光台地区コミュニティセンター	洋光台、根岸、黒坂、向坂
24日(火)	堀切川地区コミュニティセンター	堀切川、川口、明神下、横道

■北公民館、木ノ下ふれあい館、向山児童館の懇談会は終了しました。
■日程を変更します ▶豊栄コミュニティセンター/9月29日(火) →10月2日(金)に変更 ▶二川目地区生活会館/11月5日(木) →11月2日(月)に変更

10月の納税相談日

日中仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば、各種税金を納めることもできます。気軽に利用してください。

	月日	会場	時間	
夜間	10月6日(火)	税務課 (本庁舎)	17:15-20:00	
	10月20日(火)			
	10月13日(火)			分庁サービス課 (分庁舎)
	10月27日(火)			
休日	10月4日(日)	税務課(本庁舎)	8:30-17:00	

●問い合わせ 税務課 ☎ 0178-56-4704

◎11月2日(月)は次の税金の納付期限です。

- 町・県民税(第3期)、国民健康保険税(第4期)
- 介護保険料(第4期)
- 後期高齢者医療保険料(第4期)

※納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です。

予防接種希望者は医師と相談の上で接種を

高齢者インフルエンザ予防接種は、本人が希望する場合に受けられる予防接種です。

●実施期間 十月十九日(月)から十二月十八日(金)

●対象(いずれかの該当者)
①六十五歳以上の
②六十歳以上六十五歳未満で心臓や腎臓、呼吸器の機能障害のある人。またはヒト

- 免疫不全ウイルスによる免疫障害のある人。
- 指定医療機関
- ①国保おいらせ病院 ☎ 0178(52) 3111
 - ②石田温泉病院(要予約) ☎ 0178(52) 3611
 - ③下田診療所 ☎ 0178(56) 3116
 - ④三上医院 ☎ 0178(52) 2535
 - ⑤下田東クリニック(要予約) ☎ 0176(51) 8111

- ⑥このの医院(要予約) ☎ 0178(56) 8066
 - ⑦ケイクリニック(要予約) ☎ 0176(53) 6000
 - 持ち物 予約票、保険証、健康手帳。六十歳から六十歳以上の人は障害者手帳も準備してください。
 - 料金 七百元
- ただし、生活保護受給者は無料です。指定医療機関で接種できないときは、二千元を上限に補助金を交付します。

ます。接種後、医療機関の領収書と印鑑 郵便局以外の振込口座の口座番号を用意し、環境保健課へ申請してください。申請受け付けは十二月二十五日(金)までです。

●問い合わせ 環境保健課 ☎ 0178(56) 4218

インフルエンザを予防するため、手洗いやうがい、マスクの着用を心がけましょう

公的年金からの住民税引き落としが始まります

年金からの住民税(町、県民税)引き落としは、本年十月支給分から始まります。これは納税方法が変わるもので、税金の増減はありません。

●引き落としの対象となる年金
老齢基礎年金、老齢年金、退職年金など

●引き落としの対象者
①から⑤までのすべてに該当する人です。
①本年四月一日現在、六十五歳以上の

- ②本年一月一日以降、本町に住所を持つ人
 - ③本年分の引き落とし対象年金の支給額が十八万円以上の
 - ④介護保険料が年金から引き落としされている人
 - ⑤所得税、介護保険料、国保税、後期高齢者医療制度保険料、住民税の合計額が、引き落とし対象年金の支給額を超えない人
- 引き落としする税金
公的年金収入にかかる住民税を原則とします。

- 引き落とし中止になるときの
次のいずれかのとき、公的年金からの住民税引き落としは中止になります。町は対象者へ納税通知書を送りますので、金融機関などで納めてください。
- ①引き落とし対象年金の支払いが中止になったとき
- ②対象者が本町から転出、または死亡したとき
- ③本町の介護保険料が年金から引き落としされなくなつたとき
- ④所得税、介護保険料、国保

税、後期高齢者医療保険料、住民税の合計額が、引き落とし対象年金の支給額を超えるとき

⑤住民税額が本年度中に変更されたとき

●注意してください
引き落とし中止手続きの都合で、年金引き落としが直ちに中止にならないことがあります。納め過ぎた税額は、お戻しする手続きをします。

●問い合わせ 税務課 ☎ 0178(56) 4704

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鍋久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苫米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地 藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口 明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	10月23日(金)	10月27日(火)	10月26日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 10月7日(水)	紙 10月21日(水)	びん 10月14日(水) 10月28日(水)
粗大ごみ	10月9日(金)・23日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します ●問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) Tel 0178-56-4218

Monthly Oirase Information

おいらせ町役場 ☎0178-56-2111 (代表) おいらせ病院 ☎0178-52-3111 中央公民館 ☎0178-56-2251
 東公民館 ☎0178-52-2061 北公民館 ☎0176-57-0033 町民交流センター ☎0178-56-4711 いちよう公園体育館 ☎0178-52-6744
 地域包括支援センター ☎0178-52-7086 老人福祉センター ☎0178-56-4415 農村環境改善センター ☎0178-56-5255
 いきいき館 ☎0178-52-7095 のびのび館 ☎0178-50-1601 みなくる館 ☎0178-52-3900 学校給食センター ☎0178-52-3319

OIRASE BRAND File ⑧

【全国に誇れる】
 おいらせが **ブランド**
 アピオス



Apio

アピオスは正式名「アメリカホドイモ」というマメ科の植物。原産地は北米で、古くからネイティブ・アメリカンの栄養源として食べられていた。日本に伝わったのは明治時代のこと。北米から青森へ輸入されたリンゴの苗木と共に伝わったといわれる。東北地方の農家では、産後や病後の栄養食として食べられた。

アピオスの食べ方は、熱湯でゆでるのが一般的。皮も一緒に食べることができる。味わってみると、ほんのりとした甘さが心地よい。

鉄分やカルシウム、ビタミンCを多く含むアピオス。ぜひ味わってほしい。
●お問い合わせ
 アピオスの会 松林カヲル
 ☎0178(56)3501

町はおいらせブランド推進協議会と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。

●お問い合わせ
 おいらせブランド推進協議会 ☎0178-56-2019
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

●地デジ
地デジ説明会を開催します
 テレビのアナログ放送は、平成二十三年七月に地上波デジタル放送(地デジ)に変わります。総務省青森県テレビ受信者支援センターは、住民を対象に説明会を行います。

●点検 などの
 ●問い合わせ 介護福祉課 包括支援センター
 ☎0178(52)7086

ます。個別に案内の手紙が送られます。気軽に参加してください。
●開催場所・日程
 ①十一月三日(火) / 北公民館・一川目地区生活会館
 ②十一月四日(水) / 東公民館・老人福祉センター
 ③十一月五日(木) / みなくる館
●開催時間 十三時、十四時、十五時の三回
●問い合わせ
 青森県テレビ受信者支援センター
 ☎0177312275

子育て支援センターのサークル活動

場 所	日 時	行事内容
三田園保育園 ☎0178 56-2008	10/6㊤ 10:00~11:00	手づくりおもちゃで遊ぼう(みらい館)
	10/7㊤ 10:00~11:00	手づくりおもちゃで遊ぼう(ひまわり館)
	10/8㊤ 10:00~12:00	体験保育(2歳クラス)
	10/14㊤ 10:00~12:00	体験保育(1歳クラス)
	10/15㊤ 10:00~12:00	体験保育(0歳クラス)
	10/20㊤ 10:00~11:30	ハンドメイドクラブ
	10/28㊤ 10:00~12:00	マタニティママクラブ
	10/29㊤ 10:00~11:30	親子クラブ
	10/2㊤、9㊤、16㊤、30㊤ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ ※詳細はたんぼぼ通信をご覧ください
	10/1㊤ 10:00~11:30	元気ルーム(牛乳パックで小物入れづくり)
錦ヶ丘保育園 ☎0178 56-4051	10/8㊤ 10:00~11:30	ピヨピヨルーム(会場/錦ヶ丘集会所)
	10/24㊤ 9:30~12:00	ハロウィン作品展
	10/17㊤ 10:00~11:30	体験保育
菜の花保育園 ☎0176 53-8670	10/17㊤ 14:30~	ワクワクサークル(ニンジンホットケーキづくり)
	毎週土曜 15:00~16:00	キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
	10/1㊤ 10:00~11:30	フラダンス
あゆみ保育園 ☎0178 52-2206	10/3㊤ 10:30~11:00	青空キッズ(中央公園)
	10/6㊤ 10:00~11:30	公園を散歩しましょう(いちよう公園)
	10/8㊤ 10:00~11:30	フラダンス
	10/13㊤ 10:00~11:30	アロマでハンドクリームづくり
	10/15㊤ 10:00~11:30	サークル
	10/20㊤ 10:00~11:30	作品づくり・給食体験
	10/22㊤ 10:00~11:30	おいらせクローバ
	10/23㊤ 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム
	10/27㊤ 10:00~11:30	焼きいも会
	10/29㊤ 10:00~11:30	おしゃべりサロン(作品づくり)

※詳細はきらら通信をご覧ください

相談

秋の行政相談週間
 気軽に相談ください

●企画課 ☎56-4701
 十月二十六日から一週間は、「秋の行政相談週間」です。行政相談は、町民の苦情や意見を聴き、行政の制度や運営の改善を図るものです。行政相談員は窓口開設日だけでなく、電話での相談も受け付けています。気軽に相談してください。



中村 廣美
 [東公民館担当]
 ☎0178-52-3848



徳永 幸雄
 [中央公民館担当]
 ☎0178-56-3850

●相談窓口開設日時
 十月二十六日(月) 十時から十五時まで
●場所 中央公民館および東公民館
●担当相談員

募集

統計調査員を募集

●企画課 ☎56-4701
 町は統計調査員を募集します。従事できる人は、気軽に問い合わせください。なお、登録しても必ず調査員になるわけではありません。

●統計調査員の役割
 ▼調査対象者への面接
 ▼調査票の回収▼内容の精査▼町への調査票提出—などです。
●待遇 規定に基づき報酬が支払われます。報酬の額は調査によって違いがあります。活動中の事故は、公務災害保証が適用されます。
●応募資格
 ①調査で知り得た秘密を守られる人
 ②期間中は調査活動に専念できる人
 ③選挙関係者や徴税、警察に關係がない人
●応募方法 企画課備え

子育て

子育て応援特別手当 三万六千円を支給

●町民課 ☎56-2246
 平成二十一年度子育て応援特別手当は、子ども一人あたり三万六千円を支給します。対象となる子どもは、平成十五年四月二日から平成十八年四月一日生まれの人です。対象世帯は本年十月一日現在、住民基本台帳、外国人登録原票に登録される世帯です。
 受け付けは十二月中旬を予定しています。対象者には通知します。

介護保険

介護給付の適正化に協力してください

●介護福祉課 ☎56-4701
 介護サービスが利用者の要介護状態の予防、改善自立支援につながるよう、十月から介護給付適正化事業を行います。職業実践にあたり、職員証を付けた職員が訪問し、心身の状態などを聞くことがあります。協力をお願いします。
●本事業の概要
 ①居宅サービス計画(ケアプラン)の点検
 ②新たな要介護認定者へのサービス担当者会議の出席
 ③介護保険住宅改修など

ゼロエネルギー、100年住宅の21世紀



『FPの家』、他にはない価値はここにある

100年を生きる住まいにふさわしく、永く安心とやすらぎを。ご家族の大切な財産をお守りするためのFPの家の約束です。

100年つづく家であること、それには性能・価値・安心が欠かせません。環境に優しい住宅。いつも春のような快適でしかもエネルギーを大切に使う住まい。
 住む人の視点に立って、心と身体のためにいいことをカタチにすること。長く暮らせば暮らすほど愛着が深くなる満足ゆく住まいを、お客様と一緒につくっていきたく考えています。

無結露50年保証

「ウレタン断熱パネル」は、家の寿命を左右する壁体内結露の発生を抑える素材です。その素材内部の無結露を、50年間保証します。

省エネルギー性能保証

●気密測定(C値1.0cm²/m²以下) ●風量測定 ●室内環境測定 ●熱損失係数(Q値)表示

FPグループ総合補償制度

●完成保証 ●10年間の瑕疵保証 ●建設工事補償 ●生産物賠償補償 ●工事中の賠償補償



〒039-2135 青森県上北郡おいらせ町立蛇71番地
 Tel.0178-50-6511 Fax.0178-50-6510

ホームページ [柏崎組](#) 検索 Click
 省エネリフォーム無料相談受付中!お気軽にお問い合わせください。

※有料広告掲載欄です

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

13件/届出 23件

●西館	和史(司・こずえ)	木内	々々
●小向	敬悟(崇道・由理子)	間木	木木
●三浦	理和(真人・里美)	間木	ノ下
●大西	藤亮(亮・麻子)	染	屋
●工藤	村七(雅之・弥生)	日ケ	久保
●三村	口悠(博明・里美)	藤ケ	森川
●川口	本敏(勲・美樹)	堀木	切川
●橋本	西館(信行・真寿美)	一洋	光台
●西村	下知(真二・久美子)	緑二	ケ川
●木下	倉紗(満・ゆきえ)		
●中館	山恵(勝夫・幸恵)		

結婚おめでとう

2件/届出 8件

松林雄基	八戸市
曾我るり	八戸市
中山大輔	三田町
沼山恵莉香	北町

お悔やみ申し上げます

16件/届出 20件

●川端	シワ	79	木ノ下
●柏崎	トワ	84	木内々
●三村	憲昭	60	五丁目
●工藤	留三	63	豊原
●小向	村勝	74	苗振谷
●北村	口要	62	洋光台
●川口	向徳	91	藤ケ森
●小田	中山	62	三本
●田中	敏正	80	黒三
●新上	まさ子	80	三田
●村上	純一	94	三川
●二川	目純	76	二川
●小田	中たつよ	87	洋光台
●森田	光彦	36	阿光坊
●坂岡	成子	53	藤ケ森
●齋藤	総一郎	85	一丁目

9月届け出分。本誌への掲載を希望した人だけ載せています

おいらせ町の人口

(9月1日現在)

人口	前月比
男	12,215 +12
女	12,888 +20
計	25,103 +32
世帯数	9,203 +13

宝くじ助成事業を活用してください
 ●本年度、宝くじの助成金を活用してコミュニケーション活動に使用する用品を整備した団体、内容は次のとおりです。
 ●木内々町内会/草刈り機などの公園管理用品、保存庫
 ●青葉町内会/イベント用アンブ
 ●鶏久保町内会/掲示板、会議用机など
 ●洗平町内会/除雪機格納庫、草刈り機

交通
 ●宝くじ助成金事業の相談は、随時対応しています。気軽に問い合わせください。
 ●町民バスの時刻や経路が変わります
 ●十月一日から、町民バスの発着時刻と運行経路の一部が変わります。詳しくは町ホームページを確認してください。
 ●新設・移動するバス停
 ●[南線] 本村東、本村西、

スポーツ
 ●赤田前、赤坂
 ●時刻・路線の変更
 ●[東線行き二便] 二川目境(九時二十分発)から豊栄」を新設
 ●パークゴルフ体験会を開催します
 ●[南線] 振興課 ☎ 56-4259
 ●日時 十月三十一日(土) 十時から
 ●場所 カワヨグリーン牧場
 ●定員 先着四十人
 ●受講料 無料(町負担)



●持ち物 運動着、底の平らな靴、飲み物など
 ●協力 町パークゴルフ協会
 ●雨天のときの対応 当日八時までに、申込者へ連絡します。
 ●申込方法 九月二十五日(金)から十月三十日(金)までに、スポーツ振興課へ申し込んでください。定員に満たないときは、当日も受け付けます。

勇壮華麗な山車が勢ぞろい 山車合同夜間運行

百石まつり、下田まつりに参加した山車が、秋の夜空の下でライトアップされながら練り歩きます。流し踊りや太鼓の競演会も行います。

●日時 10月3日(土) 18時から(雨天のときは中止します)
 ●場所 イオンモール下田 北側駐車場

●参加する山車 藤ヶ森、上新町、間木、三田南の4団体
 ●主催 町地域振興協議会、ジャスコ下田店、イオンモール下田、下田タウン(横)

☎企画課 ☎ 0178-56-4701

赤十字
 ●おいらせ町から愛の心を世界中に
 ●町赤十字奉仕団は、次のとおり奉仕活動を行います。気軽に来場してください。
 ●町防災訓練での炊き出し訓練(百石工業団地) / 十月四日(日) 九時から

イベント
 ●朝日を浴びながら豪快な地引き網体験
 ●町地引き網は、おいらせの貴重な伝統漁法です。地元漁師たちが網の引き方を教えてくれますから、初心者でも安心です。イワシやサケを捕ることが出来ます。地引き網体験の後は、温かい鮭汁を食べられます。気軽に参加してください。
 ●天候や波の状況により

地域振興
 ●まちづくりを支援
 ●ハートピア助成金
 ●町はオータムジャンボ宝くじの収益金を活用し、まちづくりのために活動する団体へ助成しています。
 ●現在は平成二十一年度下期に実施する事業を募集しています。本年度の募集は今回で最後です。申請漏れがないようにしてください。
 ●相談は随時対応しています。気軽に相談してください。
 ●対象になる団体
 ①住所、活動場所が本町

●内にあること
 ●助成対象の活動を確実に実行できること
 ●営利、政治または宗教を目的としないこと
 ●町から補助を受けていない団体であること
 ●対象になる活動
 文化活動、スポーツ活動、美化活動など
 ●対象経費 活動に必要な経費が対象です。ただし、人件費や謝礼、パソコンなどの備品購入費は除きます。
 ●助成額 経費の三分の二(上限二十万円)
 ●助成期間 同一事業は三年間
 ●申込方法 団体および事業の認定を、所定の様式に記入し、十月三十日(金)までに申し込んでください。申込書は企画課、またはホームページから入手できます。
 ●事業の決定 ハートピア審査会で審査し、十一月下旬に通知します。

金融機関
 ●「青い森信用金庫」に改称します
 ●町指定金融機関の八戸信用金庫は、十一月九日(月)から「青い森信用金庫」に名称が変わります。
 ●問い合わせ
 会計課または八戸信用金庫おいらせ支店
 ☎ 0178(56)2880

百石高校学園祭での献血啓発活動・事業PR
 ●十月四日(日) 十時から
 ●イオンモール下田での献血啓発活動・事業PR / 十月四日(日)、十三時半から
 ●町生涯学習フェスティバルでの事業PR活動 / 十月二十四日(土)、二十五日(日)の両日

中止になることもありま
 ●す。あらかじめ了承ください。
 ●日時 十月十一日(日) 午前六時半から
 ●場所 二川目海浜公園
 ●参加料 無料

●北浜葬儀センター
 ●電話1本で、どこの病院からでも御遺体を自宅までお運びいたします。葬儀一式25万円から、お客様の予算に合わせてサービスいたします。お気軽に御相談ください。年中無休。24時間営業。
 ●おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
2 金	リハビリ健康相談 健診結果説明会	9:30-11:00 受け付け / 15:15-15:30	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 保健師、栄養士などの健康相談
3 土				
4 日	愛の献血	10:00-12:00 13:30-16:30	百石高校 イオンモール	
5 月				
6 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査 認知症予防教室	9:30-11:00 受け付け / 12:30-12:45 9:30-12:00	いきいき館 いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象●平成20年3月生まれの子ども
7 水	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け / 10:00-10:30 受け付け / 13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象●平成21年7月生まれの子ども 月齢は問いません
8 木	町民健診 転倒予防教室	受け付け / 6:45-8:30 9:30-12:00	北公民館 のびのび館	理学療法士の運動指導
9 金	町民健診 リハビリ健康相談	受け付け / 6:45-8:30 9:30-11:00	北公民館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
10 土				
11 日				
12 月				
13 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
14 水	転倒予防教室 ポリオ予防接種	9:30-12:00 受け付け / 13:30-14:00	北公民館 北公民館	理学療法士の運動指導 生後3~90カ月の子ども
15 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
16 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
17 土				
18 日				
19 月				
20 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
21 水	健口栄養講座 5~6カ月児健康相談	9:30-12:00 受け付け / 10:00-10:30	北公民館 いきいき館	対象●平成21年4月から5月生まれの子ども
22 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室 健診結果説明会	9:30-12:00 11:00-12:00 受け付け / 15:15-15:30	のびのび館 老人福祉センター いきいき館	理学療法士の運動指導 保健師、栄養士などの健康相談
23 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け / 12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象●平成18年4月生まれの子ども
24 土				
25 日				
26 月				
27 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
28 水	転倒予防教室 婦人科健診	9:30-12:00 受け付け / 11:30-12:45	北公民館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
29 木	婦人科健診	受け付け / 11:30-12:45	老人福祉センター	
30 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談

編集後記

▽「長生きする木の根元の土を使い、生命力を野菜にも分けてもらう」。樹匠として樹木を知り尽くした松林清栄さん「根岸」から聞いた言葉です。説得力を感じました▽今わたしたちが口にする野菜や肉、魚のうち、外国からの輸入に頼るものは相当な割合を占めることを、テレビや新聞などで頻繁に目にします。祖父たちの時代、食べ物のほとんどは自給自足でした。いつの間にか、大量生産、大量消費の時代を迎え、スーパーに食材がふれる時代になっていきます▽でも地域の食材には、そこそこの味、生産者の並々ならぬ思いが詰まっています。普段は野菜嫌いな自分ですが、あらためてありがたさを感じています。

企画課 広報担当
松林 拓大

頑張るおいらせ人にインタビュー

File_04



町に文化の風を吹かせたい

五・七・五・七・七の韻律に、自己の思いを表現する短歌。しらとり短歌会の代表を務める日野口和子さん（六二） 鶴久保は、三十代後半ころにその魅力を感じ、現在まで活動を続ける。

日野口さんは十八年前、三沢市から本町へ引っ越した。家を構えた鶴久保は、水田と森が広がる自然豊かな場所。その自然に魅力を感じ、当初考えていた海外移住を取りやめるほどだったという。

町文化協会に加入し、活動を展開しようとしたが、当時は短歌に取り組むサークルはなかった。日野口さんは短歌活動を通じて「文化の香りだけ



日野口 和子さん

ひのぐち・かずこ ●1946年沖縄県生まれ。中学校三年生のとき、青森県へ移り住む。県歌壇新人賞、県短歌賞などを受賞。油絵にも造詣が深い。鶴久保在住、62歳。

なく、風を吹かせたい」という強い思いで、「下田しらとり短歌会」を立ち上げた。

八年越しで開催した短歌大会

短歌大会」を開催した。県内外から多くの参加者が集い、成功裏に終えた。大会を開催しようという強い思いを胸に、各方面へ働きかけを開始してから、八年の歳月を経ていた。「第一回大会の応募作品は生涯の宝」と日野口さんは言い切る。

日野口さんは全国短歌大会や新聞の歌壇選者を初めとし、県歌人懇話会の常任理事を務める。また、北奥羽、上十三短歌大会、ハートピアおいらせ県下短歌大会の選者として活躍。文化の風を吹かせたいとの思いは、絵画の世界にも広がる。

視七五三 ご予約承り中!

- ・撮影用衣装は無料
- ・着付けも無料です
- ・お出かけ衣装のレンタルセットあります
- ・撮影された全カットのデジタルデータをもれなくプレゼント!

※携帯電話サイズの紙解像版です

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

労働大臣検定一級写真技能士の店
有限会社アトリエゆう



満席の会場で、受講者らは惜しめない拍手を講師へ送る

－ 楽しみながら知識を深める －

ふるさと学習塾

Theme **北の義経伝承**
－義経は生きていた－

800年あまり前、源義経は岩手県平泉で命を絶ったといわれています。しかし、わたしはそう考えていません。平泉より北の岩手県北、青森県や北海道まで、至るところに義経伝説が継承されています。北海道に伝わる伝説を検証すると、中国大陸へ渡ったのではないかとさえ思えてきます。義経は落ちのびる際に立ち寄った多くの地域で、親しみをもって迎えられたようです。義経伝説は今も色あせることなく、わたしたちに神秘とロマンを投げかけます

PROFILE

しょうぶけ・たねやす◎1925年八戸市生まれ。東京農大卒業後、八戸市職員、八戸市博物館長を務める。郷土史家として「北の義経伝承」など、多数の著書を執筆する。

Theme **家族**
－夫婦円満、子ども、健康－

不妊で悩んでいる夫婦は、この日本に50万人くらいいるのではないかとされています。不妊治療には▶精神的苦難▶肉体的苦難▶経済的苦難▶が伴うものです。かけがえのない子どもの出産を望むためにも、夫や家庭、地域や自治体の理解や支えが大切になります。子どもの存在で、親は「本当の親」へと成長します。幸せはいつ訪れるかわかりませんが、必ずやってくるものです。そのチャンスを逃さないようにすることが大切だと思います。

PROFILE

きのした・ひろかつ◎1968年北海道生まれ。東大大学院を卒業し、医師になる。2004年、女子プロレスラーのジャガー横田と結婚。待望の第一子をもつ。

●「ふる学」の問い合わせ

生涯学習課（分庁舎二階）
☎0178（56）4276

ふるさと学習塾は平成六年から始まりました。年間五回程度の講演会は、毎回多くの受講者が訪れ、講師の話に耳を傾けています。
本学習塾の特徴は▽町民による運営委員会方式▽バラエティー豊かな講師陣▽無料で楽しみながら知識を深められることが挙げられます。
運営委員は、町民から公募されます。運営委員は講演会当日の司会進行、講師紹介、受講者の誘導などを行います。また、受講者アンケートなどを参考にしながら、次年度の講師を選定するのも、運営委員の大きな役割です。委員五年目を迎えた吉田健志委員長（三田）阿光坊は「毎回講師の選定は、頭を悩ませます」と、その苦労を語ります。
選定される講師は、メディアをにぎわす有名人ばかりではありません。地元で活躍する人も、講師に招きます。中央と地元を織り交ぜながら、講演会のプランを練っています。「ふる学」と呼ばれて親しまれるこの講演会は、誰でも気軽に参加できます。ぜひ足を向けてください。

Voice

ファンの声

ふるさと学習塾をこよなく愛するファンの声を聞いた

We Love "Furugaku"



田中栄子さん

たなか・えいこ（六戸町）

さまざまな分野の講師の話が聞けるのがいいですね。六戸町でも講演会を開いていますが、参考になるところがたくさんあります。

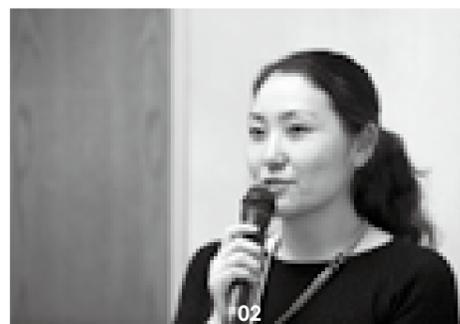


徳永けささん

とくなが・けさ（木内々）

テレビや本で活躍する有名人を、直接この目で見る機会はそうありません。夜の時間帯ですが、毎回楽しみに、仲間と一緒に参加しています。

◎01_吉田健志運営委員長（写真右）阿光坊＝をはじめとする10人の運営委員は、町民の有志で組織される。講師選定や会場運営など、重要な役割を担う。◎02_開講式で司会を務めた馬場陽子委員＝三田＝。運営委員5年目を迎え、余裕が感じられる。



02



01



野球に燃える兄と元気いっぱいの妹 母は子に「礼儀と思いやり」を願う

(木内々)

PROFILE

えと・しんのすけ◎ 1999年、おいらせ町木内々に生まれる。現在、木内々小学校4年生。春に入学した野球部で、レギュラーを目指して練習に励む。体育が得意な男の子。祖父母、父母、妹との6人暮らし、9歳。

えと・まな◎ 2003年生まれ。下田保育園に毎日元氣に通っている。好き嫌いなく何でも食べる元氣な女の子。5歳。

野球部の練習を終えた江渡慎之介君(九歳)と、兄を迎えに来た妹の真奈さん(五歳)。

慎之介君は本年四月、木内々小学校野球部に入学した。まだ入学したばかりでレギュラーにはなっていないが、「ピッチャーになりたいです」と力強く語る。練習はほぼ毎日続ける。バッティングやノックなど、厳しい練習が続くが、毎日の練習が楽しくて仕方ないという。

妹の真奈さんは、毎日元氣に下田保育園に通っている。中で遊ぶよりも、ブランコやかっこなど、外での遊びが大好きだ。とにっこり笑顔。

母のアキさん(三十四)は「しっかりあいさつができるようになってほしい」と子どもたちを優しく見つめながら話す。社会に出てから、しっかりと礼儀正しく、人の痛みを分かる思いやりを持つてほしいというのが母の願いだ。母の傍らで、子どもたちはその願いをしっかりと刻み込んだ。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 **おいらせ**

広報おいらせ No.56 2009年10月1日発行号

発行 おいらせ町役場/編集 企画課/〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2 / ☎0178-56-2111 / <http://www.town.oirase.aomori.jp> /印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ 10月号の印刷経費は、1部62円です